

資料1「鎌足産湯の井戸たらしめているもの」 伊藤 現

2019年2月某日。私の誕生日前日岡本先生から何やら制作物のお誘いをいただいた。

いただいたものの折しも造形のイベントの直前だったためふわふわした頭でなんとなくお話をお聞きしようという気持ちのまま一旦イベントをこなし、翌週夜勤明けのこれまたふわふわした頭でお聞きした話は「井戸を作って欲しい」とのこと。

井戸を作る。頭に浮かんだのは某ホラー作品のような有体にいうと円柱がにゅっと生えてる想像。なのでモノを見てみないとよくわからない。

そして翌月現地に行って説明を賜ったところなにやら中臣鎌足の産湯の井戸をそのまま作って欲しいとのこと。（2月某日の時点で聞いていた気がするが完全に忘れていた。）なんとまあ遠いご先祖様（苗字的に）の産湯の井戸ではないか。

説明を聞いた後いよいよ井戸とご対面。

第一印象は「穴やん！」です。

みなさん現地を見られたらお分かりかと思いますが石積みの「穴」なのである。

もちろん石を積んで水路もあり底には水が溜まっているまごうことなき井戸ではありましようが2019年鎌足さんの産湯の井戸に対する印象は「穴」です。（個人的な感想です。）

普段から造形を生業にしておりますが穴を展示するってのは実に悩ましい。

某ホラーのような井戸なら円柱を作るでしょう。なんなら場合によっちゃつるべ作し滑車を作るでしょう。時代が合いませんが。

穴を作るってのはだいたい表現に迷うわけでございます。地面からマイナス方向なので。

しかもそのまま作って欲しいというご依頼。

この穴、いや井戸地面にめり込んでいるわけです。前述のとおりですが。

地面からプラス方向に出ているフチの石だけ作るのか。その場合穴の中はどうするのか。

スライスしたポンデリングになりやすまいか。

1/1で作るのか地面はどうするのかそもそもどういう表現が可能なのか。

正直1/1で作るのなら地面ごと型をとって複製すればいいがそれは造形的に作る楽しみがあるのか。（資料的な価値はある）

表現方法が悩ましかったのもあり、なんとなくご先祖さまの縁を一方的に感じて依頼をお受けしたのです。

この井戸、を現場にて表現するにはどうするか。

多少のアレンジは表現の常だろうとも考え、普段の自分は造形の主たるところで模型を嗜んでいるのでデフォルメをきかせて縮小しようと思いました。

そのほうが作るのがおもしろい。

展示会場を見させていただいたらお話し向きにステージ上に穴がありました。

これを使おう。ここに井戸嵌め込もう。ご先祖様の思召し。

おおよそ本物の1/2程度マイナス方向に穴、いやさ井戸を作る。

これ以上ない。依頼に添いつつ条件にあいそうな落とし所は。

ドーナツの穴を人に伝えるにはドーナツを作ります。この井戸の場合石の部分です。しかしこのドーナツは周りが埋まっています。しかもドーナツといってもドーナツもいろいろありますね。ドーナツっ

てのは揚げ菓子ですから。サーターアンダギーを表現するなら丸いドーナツですしチュロス表現すらなら細長いドーナツです。話が逸れましたね。

いわゆるドーナツをドーナツたらしめているのは何か。そう表記です。

値札に書いてある名称でその揚げ菓子はドーナツになりさらに言うと千差万別の種類からひとつのドーナツとなります。

身も蓋もないですね。

この蓋もない井戸を井戸たらしめているのは周りの柵と手作り感ある看板と私は感じました。

現地に行っていただとわかるのですがピンクの縁に黄色い反射シートの看板に誘われて井戸にたどりつくのです。

正直この看板がないと井戸とは思いません。輪をかけて「穴やな、」と思ったでしょう。(個人の感想です。)

なのでこの看板こそがこの井戸を井戸たらしめているものでありそのまま作るというならこの状況を作るのが正道であると感じました。

そういうわけでご覧の制作物と相成りました。

そう、作りたかったのはその愛らしい看板です。

●中臣鎌足産湯の井戸本体の作り方

段ボールで嵌め込む型を作る。

展示の際引っかかるフチに強度を増すべく木材で枠を作る。

内側に板状の発泡スチロールをエポキシ接着剤で貼り付ける。

大小の岩の形に切り分けたスチロールをつまようじで仮固定する。(石積みを意識する。)

岩部分をエポキシ接着剤で貼り付ける。

隙間に発泡ウレタンフォームを充填する。

カッターなどで不要部分を削ぎヤスリ等で整える。

全体にスプレーノリを吹きつける。

ウレタンの気泡部分や充填し切れていない部分、造形が物足りない箇所に紙粘土を盛り付ける。

乾燥後裏返し基礎の段ボールにエポキシ接着剤を含浸させる。

岩部分にスプレーノリを吹付けコートし、サフェーサーを軽く吹き付け下地を作る。

リアルを意識し塗装。ツヤ調整と保護のクリアコートを塗布。

コピー紙を染色し治具をつけたポンチで細かい葉っぱを作る。

細かい葉、造花を接着。

細部の色を調整し完成。

スライドショー
～井戸ができるまで～

井戸の模型製作

伊藤 誠 (いとうまこと)



